



**第24期 個別注記表**  
自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日

【重要な会計方針に関する注記】

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法。

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法。  
(リース資産を除く) ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）  
ならびに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備および構築物  
については、定額法。

無形固定資産 定額法。

リース資産 所有権移転外ファイナンス・リースに係る「有形固定資産」の中の  
リース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする  
定額法を採用。

3. その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

4. 当期純損失額

55,052,455円

【株主資本等変動計算書に関する注記】

年度末日における発行済株式数

当期末の発行済株式は、普通株式 7,213 株です。

【資産除去債務に関する注記】

当社は、本社および各営業拠点の不動産賃貸契約に基づき、オフィスの撤去時における原状回復に係る債務を有しています。

このうち、来期にオフィスの退去が確定したことから、原状回復費用の見積額として世田谷支社4,205,000円、横浜西支社5,000,000円、町田支社4,800,000円、相模原支社6,300,000円、海老名支社6,500,000円を資産除去債務として計上しています。これにより、当期の営業利益および経常利益は6,353,260円減少し、税引前当期純利益は25,362,765円減少しています。

本社および他の営業拠点については、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、将来移転する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができません。

そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していません。

【税効果会計に関する注記】

当社は、グループ通算制度を適用しているため、法人税および地方法人税の会計処理またはこれらに関する税効果会計の会計処理ならびに開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号2021年8月12日）を適用しています。